

新空港線整備に向けた第三セクターの設立について

大田区と東急電鉄株式会社は、令和4年10月14日に新空港線の整備主体となる第三セクターの設立登記申請をしました。

今後、新空港線の事業化に向けて羽田エアポートライン株式会社を中心となって計画検討の深度化を進めていきます。

1. 第三セクターの概要

○設立時の資本金：295百万円

(区：180百万円(61%)、東急電鉄：115百万円(39%))

※今後、進捗に合わせて増資予定

○商号名(会社名)：羽田エアポートライン株式会社

○本店所在地：大田区田園調布一丁目53番9号

○代表取締役：玉川 一二(非常勤)

○事業目的：鉄道事業法に基づく第三種鉄道事業者ほか

○設立日：令和4年10月14日

※登記完了は令和4年10月中を予定しています。

2. 新空港線(一期整備)の概要

○整備概要：矢口渡～京急蒲田区間

○事業手法：都市鉄道利便増進事業による上下分離方式を想定

整備主体：羽田エアポートライン株式会社(第三セクター)

営業主体：東急電鉄株式会社

○事業効果：・区内の東西移動の利便性向上

・羽田空港と都心・埼玉方面が繋がり、広域的な鉄道ネットワークを形成

・災害時の代替ルート役割を担う

・区内及び沿線のまちづくりに寄与

・自動車から鉄道に転換されることによりCO₂削減に貢献し、ゼロカーボンシティの実現に寄与 など